

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ミオカステーク鵜沼海岸	階数	地上5F
建設地	藤沢市鵜沼海岸二丁目5217番8	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	94人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年8月1日
敷地面積	1,120㎡	作成者	山田建設(株)一級建築士事務所
建築面積	443㎡	確認日	
延床面積	2,069㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 82% (37.72 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 82% (37.72 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④ 上記+: 82% (37.72 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.5)

音環境	3.2
温熱環境	3.8
光・視環境	3.1
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.9)

機能性	2.6
耐用性	3.1
対応性	3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.5)

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.6)

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.9
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.2)

水資源	3.4
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.0)

地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 小田急江ノ島線鵜沼海岸駅から徒歩6分の第二種住居地域に、単一用途の共同住宅を、RC造・5階にて計画した。		
<b>Q1 室内環境</b> サッシの遮音等級をT-2とした。 日本住宅性能基準5-1断熱等性能等級における等級4相当とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 0	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 0
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能基準5-1断熱等性能等級における等級4相当である。 BEIm=0.91、LED照明設備及び潜熱回収型給湯器を採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 泡沫水栓に加えて節水型便器を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の自転車置場(バイク置場を含む)及び駐車スペースを確保し、管理車両の駐車施設も確保している。 広告物照明を行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される